

『英學史論叢』投稿規程

【投稿】

1. 『英學史論叢』に研究論考・研究ノートとしての掲載を希望する会員は、本規程に基づき投稿することが求められる。
2. 投稿に際しては、別に定める標準書式に従い、参考文献・資料・図版等を含め原則として B5 判 10 ページ以内の完全原稿をパソコン等を用いて作成する。あらかじめ編集委員会事務局に届けることによりページ数の超過が認められる場合があるが、その際も上限は 20 ページとする。
3. 原稿は正本・副本各 1 通を作成するものとし、正本には執筆者名を明記し、副本では執筆者名、および論文末の執筆者所属を伏せる。
4. 投稿は編集委員会に宛てた電子メールへのファイル添付によるものとし、メールの本文中に執筆者名および連絡先メールアドレスを明記する。
5. 投稿の締め切りは毎年 2 月 20 日とし、これに遅れた場合には受理が拒否される。

【査読】

6. 投稿された論文は複数名の審査委員による査読を受け、掲載の可否、および、掲載可の場合は、研究論考または研究ノートの種別が決定され、査読意見を付して執筆者に通知される。

【掲載稿の提出】

7. 掲載が認められた場合には、審査委員による査読意見等を踏まえて掲載稿を作成し、指定の期限内に電子メールへの添付ファイルにて提出する。
8. 原稿は提出されたものをそのまま印刷するものとし、執筆者による校正は行わない。
9. 研究論考・研究ノートの掲載料は 1 編につき 3,000 円とする。ページ数を超過した場合は、1 ページにつき 1,000 円の追加掲載料を負担するものとする。学生会員については、規定ページ数以内の場合は掲載料を免除する。ただし、ページ数超過の場合は、超過分について 1 ページ当たり 1,000 円を負担する。
10. 研究論考・研究ノートとして掲載された場合には、当該の『英學史論叢』が会員宛て配付分とは別に 2 部提供される。また、抜き刷りを希望する場合には実費によりこれを作成することができる。

〔附 則〕 本規程は令和 5 年 5 月 27 日にこれを定め、同年 4 月 1 日より施行する。
本規程の改正は、役員会の議決により、総会に報告するものとする。

『英學史論叢』標準書式

1. 用紙はB5判白紙を用い、上部および下部に25mm、左右に20mm、それぞれ余白をとる。
2. 本文は、10.5ポイント文字を使用し、1行あたり38文字、1ページ38行の書式によって作成する。フォントは、和文は明朝体、欧文はCenturyを用いる。和文中の読点は「,」（全角コンマ）とし、和文・欧文を問わず、英字・数字はすべて半角文字とする。
3. 本文第1ページに論文タイトル、執筆者名を記す。論文タイトルは18～22ポイント文字を使用し、中央に置く。執筆者名は本文と同じ大きさの文字を用いて、右に寄せて記す。第1ページには、タイトル、執筆者名に続いて、30行を本文（見出しを含む）にあてる。なお、最終原稿の論文末に、右に寄せて、執筆者の所属をカッコに入れて示すこととする。
4. 本文中の見出しについては前節との間を1行アキとし、番号を付してゴシック体とする。但し、見出し中に欧文が含まれる場合にはそのフォントをArialとする。
5. 注は、尾注とし、本文中に右肩数字によって注のあることを明記する。
6. 参考文献は論文末に一括して示す。